

# インタビュー詳細資料 So-net 25 周年 MV「ありがとねよろしくね」

## 最上もがさん・PUFFY 合同インタビュー

### ——本日の撮影はいかがでしたか？

**吉村：**ピンク（最上さん）がズーっと……（衣装の）色で呼ぶよ？紫ね、あの子（大貫さん）。ピンク（最上さん）が、ずっとここ（鼻のメイク）が黒い！けど、このあとこれ（鼻のメイク）を取ったり、めっちゃ着替えがあるから、すごく大変だなと思って。

**大貫：**まだピンク（の衣装）のまんまだもんね。

**最上：**でも逆に、（PUFFY さんは）朝めっちゃ早かったじゃないですか？申し訳なさでいっぱいでした(笑)。

**吉村：**あんなに着替えないもん。

**大貫：**これしかお洋服がないから、私たち(笑)。

**最上：**全然でも、頭（カツラ）をポーンって取るだけなんで。

**吉村：**でもまたここ（鼻のメイク）を落として～…ってやんなきゃいけないじゃん！

**最上：**そうなんです。これ、チャームポイントなんで。

**吉村：**会ってからズーっと、鼻がついてるの(笑)。

**最上：**ミュージックビデオの撮影っていうもの自体が本当に私は久しぶりなので、いつもは 1 人なのが、2 人がいるっていう、それだけで楽しんでますよ。

**大貫：**良かったあ。

**最上：**（撮影が始まってから）結構経ったんですけど、全然撮れてないっていう(笑)。ってことは、これから楽しみがいっぱいという…

**大貫：**ポジティブだなあ。

**最上：**待ち遠しいなと思います。

**大貫：**いつもは由美ちゃんと 2 人なので、やっぱり 3 人いるっていいなって思いました。なので、このままピンク（最上さん）に加入してもらっても全然良いですし、新しく「PUFFY の妹オーディション」みたいなものも、やっていけたら良いなと思います(笑)。

### ——最上さん発案のダンスシーンはいかがでしたか？

**最上：**すみません(笑)！そもそも絵コンテになかったんですけど、3 人で一緒にやりたいなと言ってしまって…(笑)。

**吉村：**最上の案かよ～！！

**大貫：**最上～！！

**最上：**だってコンテを見たときに、「あれ？共演シーンがない！」と思って、ちょっとショックを受けて「（ダンスが）あった方が良いんじゃないですかね？！」ってさらっと言ったら、入っちゃったんですよ(笑)。

**大貫：**そうでしたかあ…！

**吉村：**もうね、（大貫さんが）ダンスが超お困りになっているから！（大貫さんを指さしながら）

**最上：**でもすみません。表で音をとってしまって、実際のダンスは裏拍だったということを後から知らされ、（振りを間違えてしまって）本当に申し訳なかったなと。

**吉村**：でも、もがちゃんが裏拍は苦手ということに、ちょっと優越感を得たよね。こんなに踊れる子も、できないことがあるんだと思って嬉しかった。

**最上**：下手ですから(笑)。

**吉村**：でも（覚えが）早かった。亜美ちゃんが5時間かかるとしたら5分とかで終わる、みたいなくらい早かった。

**最上**：（現場に）着いて速攻「まずダンスしましょう」って言われて、「えっ！？」てなって。振り入れがあることを知らなかったの。

**大貫**：そうなんだよね。私達も知らなかったから、「え、あるの？」みたいな(笑)

**最上**：結構こういうことありますよね(笑)。

### ——皆さんは、最上さんがでんぱ組.incとして活動なさっていた時代から交流があると思いますが、これまでにどういった交流がありましたか？

**大貫**：私もがちゃんと、鴨だけ？ 食べに行ったよね。

**最上**：鴨食べました(笑)！ 鴨鍋を食べましたね。あれ、かなり前ですね。

**大貫**：しょこたん（中川翔子さん）もいたよね！

**最上**：あとすごい印象に残っているのが、しょこたん（中川翔子さん）関連で、「ウチくる！？」と一緒に出て、占いされて…

**吉村**：下北？ そうだね？ 行った！ ゲッターズ飯田さんが来たときね。

**最上**：ゲッターズ飯田さんに容赦なく裏でめちゃくちゃ言われて。表では良いことを言ってくれて、裏では注意点をめちゃくちゃ言ってくれる。

**吉村・大貫**：え～！ 言われたい～！ 言われてない～！

**最上**：「男運が悪すぎる、本当に気を付けた方が良いよ」と言われて、もうその通りだったという(笑)。

**吉村**：言われたい～！ 聞けば良かった。

**最上**：全然、聞いてないのに言ってきましたもん(笑)。「こういうこと気を付けた方が良いよ、これから」みたいな。気を付けられなかったの、アイドル辞めましたからね(笑)。

**吉村・大貫**：ああ～～(笑)。

**最上**：こういうことは気を付けた方が良い、というのはすごく言われました。

**最上**：ライブも一緒にやりましたね。懐かしい。

**大貫**：由美ちゃん入ったよね、でんぱ組.incに。茶色でね。ごぼう色で。

**吉村**：そう、あのとき踊ったんだよね！（最上さんが）真面目で。もがちゃんが、ダンスのレッスンするときに、振り付けの先生もいらして、踊っては汗の…床を、ほこりを毎回拭くの。どんだけ几帳面なの？ と思って(笑)。

**大貫**：あ、もがちゃんがしてたの？

**吉村**：そう！ ずっとお掃除ばっかりしてて、そのときは「もがちゃん、もがちゃん」という印象だったんですけど、振り付けの先生が「最上一！」って言った時に、「あ、“最上”ってかっこいいな」と思って、その印象がすごくあって。「もがちゃん」って今言っているけど、心の中では実は「最上」って（呼んでる）。

**最上**：なんでですか～(笑)。

**吉村**：その印象がめっちゃある。「最上！」って呼ばれてて、なんでか掃除してるの。

**最上**：そうなんです、先生によく怒られてましたね。あと、なぜか近い人には「最上」って呼ばれますね。ねむ（夢眠ねむさん）にも「最上」って言われるんですよ。

**吉村**：最上の印象が強くなって、その時に。

**最上**：謎(笑)。

### ——PUFFY さんから見た、最上もがさんの第一印象は？

**大貫**：私は会うより先に、写真集を見てたんじゃなかったかなあ。

**吉村**：写真集は「ウチくる！？」に出たときにもらったよね。

**大貫**：初めて会ったのいつだけ？結構前だったよね。

（無言の間）

**最上**：最近、記憶が…(笑)。

**大貫**：ね、わかる。

**大貫**：とにかく細くてかわいくなって、（ナイスバディ、というジェスチャー）ってなってるんで(笑)。

**最上**：表現(笑)！

**大貫**：もがちゃんの写真がすごく好きで、めっちゃ見た。もらった写真集もスゲー見た(笑)。フウ～！フウ～！って。

**吉村**：私はお掃除している姿と…ダンスのレッスンの時に私は初めて会って、レッスンだから私含め全員すっぴんで「こんにちは」って言って。ジャージのズボンに T シャツみたいな恰好で、床をめっちゃモップで拭いている印象が、めちゃ強いですね。一番真面目に見えた。

### ——最上さんから見た、PUFFY のお二人の第一印象は？

**最上**：「そのまんまだな」って思っちゃいました。裏表がないですか？

**大貫**：あるよ、これ余所行きだから(笑)。

**最上**：え～(笑)！？びっくりと言ったらあれなんですけど、めちゃくちゃ仲が良いなと思って。

**大貫**：それはあるかも。

**最上**：これは大きな声では言いづらいんですけど、あんまり世の中の、例えばお笑い芸人さんとか、コンビとかグループの人たちってそこまで会話がないんですよ、プライベートだと。仲が悪いというよりは、多分割り切っている人が多いなと思うんですけど、（PUFFY さんは）プライベートまでめちゃくちゃ喋るんだなって思って(笑)。さまあ～ずさんとかは（プライベートでも）結構喋るのを見かけていて、「あ、（PUFFY の）お二人もなんだ」って、結構レアケースだったんですよ、実は。この 10 年この業界で働いていて、あんまり見かけなくて、正直(笑)。だから、お～！って思いました。

**大貫**：え～、そっか～。

**最上**：やっぱり仲良しなんだーと思って、嬉しい出来事でした(笑)。

### ——PUFFY さんは 25 周年、最上さんは昨年 12 月にデビュー 10 周年を迎えられましたが、デビュー当時から振り返って、一番覚えていることは何ですか？

**最上**：デビュー当初は、ダンスが「泥人形」って呼ばれてたんですよ。本当に下手くそで(笑)。デビュー日の 12 月 25 日に、でんぱ組.inc のファーストワンマンライブをやったんですよ、「原宿アストロホール」で。今はもう多分 DVD とか買えないんですけど、YouTube とかに残ってるんですよ。自分のパート、めっちゃくちゃに音外してて(笑)。それが本当に、恥ずかしくて仕方ない。その思い出が強いですね。

**大貫：**（デビュー当時は）なんにも分からなかったので…奥田民生さんとレコーディングして、後から「すごいスパルタだね」って聞かされる（周りから言われる）んですけど、「歌えません、できません」って言ったら「アホか！田舎帰れ！」って言われたり…でも、田舎がないから。東京出身なんで。「田舎ありません！」みたいな(笑)。それで笑って終わるみたいな感じだったり。「特殊なことしてるな」とは思ってたんですけど、やっぱり由美ちゃんがいたからこそ続いているなっていうのは、25 年を振り返っても、デビューのときからずっと二人で話し合える環境にあったというか。不平不満も含め、楽しいことはもちろん倍に膨れ上がるし、みたいな感じでやってこれたので、デビュー当時からそうだし、今もそうだなと思います。

### ——最上さんに質問です。PUFFY の曲で 1 番好きな曲は何ですか？

**最上：**『パフィポ山』って言おうとしたんですよ。本当に好きなんですけど。でも最近は『罪深いかもしれない』が、めっちゃ好き。

**大貫：**ああ～、新しいやつ！え～嬉しい！

**最上：**あれすごい良いですね。

**吉村：**私も好き、あの曲。

**最上：**あれすごい聞いちゃいます！なんかすごい、ときめいてました。新しいアルバムめっちゃ良いですね！

**大貫：**ありがとう～！（涙ぐむジェスチャーをしながら）もう～ええ子や…！

**最上：**誰が作ったとかあまり分からずに聞いて、「あ、生形（真一）さん（が作った曲）なんだ！」とか、発見がいっぱいありました。色んなテイストで、全曲違う楽しみ方ができる感じで。

**大貫：**やだ～、もう連れて帰りたい(笑)！

**最上：**その中で一番好きだったのが『罪深いかもしれない』です！

### ——動画の中で、インターネットの歴史が映し出されるシーンがございます。皆さんも今まで色々な形でインターネットを使われてきたかと思いますが、思い出に残っている物やエピソードはございますか？

**最上：**私は PostPet をめちゃくちゃ使っていたのと、中学 2 年生くらいからめちゃくちゃネットゲームをやっていたので…。（親に）すごい怒られました。今って、ネットなんて使い放題みたいに見えるじゃないですか。当時は「何分いくら」ってというのが出ちゃうので、ビクビクしながら使っていました(笑)。こっそりやっても、料金でバれますからね。

**大貫：**確かに。高かったもんね。私もでも、ゲームかなあ。遠く離れたる友達と、通話しながら同じゲームができるとかさ、（最近）すごいよね。集まらなくて良いし、終わったら終わったで「じゃあまたねー！」とか言って。「未来だな」と思いました。

**吉村：**…やば。なんにも出てこない。

**大貫：**由美ちゃん今ほら、動画配信サービスで動画見まくってるじゃん。

**吉村：**確かに～。小さい画面で見なくても、テレビで全部見れるんだなっていうことをこの間知って。

**大貫：**えっ…この間？

**吉村：**この間って、ちょっと前だけど。ボタンあるじゃん！みたいな。

**最上：**今、そうですね。

**吉村：**テレビのリモコンに全部ボタンついてて。でっかい画面で見るとまた最高だよ。イケメンがよりイケメンに見えるよね。

**——ソネットのキャッチコピー「好き、がつながる」や、今回の楽曲の歌詞にちなんで、誰かと「離れていても繋がっているな」と感じた経験はございますか？**

**最上：**インターネットの普及がなければ出来てなかったなと思うのは、近況をネットで見れること。前って、手紙でやりとりとかよくやってたんですけど、今って手紙とかは減ってる気がするので、忘れちゃったりすることが多くて。昔の友達のこととか。でも今は、パッと Instagram を見たときとかに、亜美さんの投稿で「今ツアーをやってるんだな」とか「グッズかわいいな」とか、そういう情報を得られるっていうのが、ネットが無かったらあり得ないっていうのが…25 年前ってこんなじゃないじゃないですか。だから、すごい変わりましたよね。今はそういう意味では、繋がれることが増えてるなって思います。

**吉村：**確かに、それあるかも。20 歳くらいからの（付き合いの）友達がいて、忙しくなって自分も電話番号が変わったりして、海外に向こうも行ったりしてたけど、ネットでたまたま繋がって、15 年ぶりくらいに会って、そこからまた仲良くなって、みたいな…

**大貫：**え～、誰！？

**吉村：**………えっ？

**大貫：**言わないか(笑)。

**吉村：**さすがにちょっと言いにくいよね～(笑)。あと、国とか時間とか関係なくなったよね。海外に行っている人とでも気軽に、「今何時だろう？」とか関係なしに、連絡のつけ方が色々出来たのが、繋がってるなって感じ！

**——動画をご覧になっている皆様へメッセージをお願いします。**

**最上：**最上もがと PUFFY さんの共演は、これ（この動画）でしか見れないので、お楽しみに！

**大貫：**私たち PUFFY ももがちゃんが好きで、きつともがちゃんも PUFFY が好きで。きつと！そうに違いない（笑）！「好き、がつながる」ということが、こういう素敵な企画になったんだなと思っております。（PUFFY とソネットは）お互い 25 周年ということで、これからも頑張っていきましょう！

**吉村：**久々に、こんななってこんななって（ダンスを踊る）自分たちが、客観的に見たら面白いんだろうなと思いますし、まさかそれをもがちゃんと踊るなんて 1 ミリも思わなかったので、自分の中でも貴重な経験になったし、見る人もなかなかこんなものを見れないんじゃないかなと思うので、是非みんなに見てもらいたいですね。

**PUFFY インタビュー**

**【PUFFY】**

**——ソネットの動画に初出演してみたの感想をお聞かせください。**

**吉村：**セットがすごいなあというのと、どこを見ても色んな時代の自分があるのでちょっと恥ずかしいのと、「この髪型良かったね」みたいな話で盛り上がったよね。

**大貫：**歴代の自分たちの映像を見ながら、「あれがどうだった、このときはこうだった」みたいな話をしていたので、良い振り返りになったんじゃないかなと思います。

**——過去の映像を一度に見る機会は、あまりないですか？**

**大貫：**ないよね。

**吉村：**ない。一回もないでしょう。

**大貫**：自分のMV集とかも見ないので。

### ——撮影中、涙が出るほど笑っておられる場面もありましたね。

**吉村**：歌詞の「カンペを出します」って（スタッフが）仰ってたんですね。私は「覚えているから大丈夫」って言って、（でも大貫さんは）横で歌ってみたら全然歌えないんで「カンペを見るんだろうな」と思って。パッと「これまでずっと～（サビの歌詞）」っていうのを、パソコンで打ったような文字でキレイに書かれてるんですけど、Aメロになった瞬間に完全なる手書きで、ちょっと汚めの男の人の字みたいになって。そのギャップが面白いのと、急に変わったから、この人（大貫さん）絶対笑ってるんだろうなと思って見たら…。なんかそれで爆笑しちゃったんですけど、あれ、なんで笑ったんでしょうね、今考えると。

**大貫**：昔のことすぎてね(笑)。

**吉村**：あのときは面白かったけど、こうやって話すと全然面白くないよね。

**大貫**：実際に見比べてみてもらわないと分からないよね。最初のフォントで書かれている部分は、こうやって出した（見開き）1枚の上の部分だけだったんですけど、そこから手書きでぶわーって書いてあって(笑)。

**吉村**：「はじめてあなたと～（Aメロの歌詞）」が、倍くらいのでかさになって、手書きで(笑)。

**大貫**：見やすくしてくれてるんだけど、急に変わったから全然追えなくて(笑)。

**吉村**：こうやって話しても伝わらないので、逆から撮っておいて欲しかったんです。なんで面白かったんだろうな？謎です。

### ——楽曲を歌う上で気を付けたポイントや、想いはありますか？

**大貫**：やっぱり、明るく楽しくなるような感じが良いのかなとは思いました。

**吉村**：声の感じとかが、いつもステージで歌うときの声というよりは、なんとなく口ずさんでいるような声というか。悪い言い方しますと、若い声をあえて出したと言うんですかね。今までとはちょっと歌い方を変えて、自分で言って本当に気持ち悪いんですけど、可愛い声を出したつもりです(笑)。

### ——動画の見所を教えてください。

**大貫**：やっぱ、リアルモモじゃないっすか。

**吉村**：確かに～。

**大貫**：ぴよこって出てくるところ、可愛かったよね。私たちからしか見えないんですけど…

**吉村**：出てくる…？ああ、そっか、下からってことね。

**大貫**：そうそう、（カメラに写っていない）下からぴよこってするところが、見て「可愛いっ！」って思いました。

### ——今回の撮影で特に難しかったポイントはありますか？

**大貫**：振り（ダンス）が…(笑)。

**吉村**：（大貫さんを指さしながら）全然できないんです。本当にできないんです。びっくりするくらいできないんです。嘘でしょ！？っていうくらいできないんです。

**大貫**：まさかそんなこと（ダンス）があるなんて思ってもいなかったの、練習が必要なほどのことではないのかもしれないんですけど、「言っというて欲しかったな」って思いました。コソ練したんで(笑)。

**吉村**：振り付けだって言うと怒られるぐらいの（尺）なんですけど、（踊りながら、大貫さんの姿が）ちらちら見えるじゃないですか。めっちゃあたふたしてるんですよ。「はっ！」みたいになってることがよくあって。「ああ…これ覚えられないんだあ…」って。

**大貫**：もう無理なんだよ、人には得手不得手があんだよ…。

**吉村**：ね～。でもちよとびっくり。

**——デビュー25周年イヤーの真っ最中ですが、この25年間を振り返って、特に思い出に残っていることを教えてください。**

**吉村**：今日ずっと（セットのモニターで、過去の）ミュージックビデオが流れてたんですけど、『赤いブランコ』っていう曲が、アメリカツアーを追ったドキュメンタリー？ダイジェスト？になってるんですけど、それを見ると「このツアー過酷だったけど本当に面白かったな」って、ずーっと見ちゃった。やっぱりあれが印象に残ってない？

**大貫**：うん～…

**吉村**：いいんですよ、他のことだったら。

**大貫**：それもそうだし、振り返りのタイミングでこういう映像をいっぱい見て、「出されて嫌なミュージックビデオは1個もないよね」っていう話をしていたり、「髪型は何が良かった」とか、そういうのも色々話せたり、そう考えると、やっぱり25年って長いんだなあって思いました。

**——昨年の25周年記念ライブや、アルバム制作の中での思い出はありますか？**

**吉村**：昨年末にやったものは、オリジナルアルバムが10年ぶりって、それを引っ提げてのライブだったので、新曲ばかり沢山やることになって、久々にすごい緊張感があったというか。初日に自分たちの緊張がみんなに伝わって、メンバーもちょっと緊張してたな、っていうのは久々じゃない？全員が緊張してた感じが、「ああこの感じ久々」って思った。

**大貫**：「何緊張してたんだよ！」って思いながら、「わかる！」っていう。

**吉村**：いつも緊張はするんですけど、輪をかけて、めっちゃ緊張しましたね。

**——コロナ禍でイベントなどが開催しづらかったと思いますが、どんな想いがありましたか？**

**大貫**：ちょうどその時期に25周年を迎えたんですけど、皆さんその辺活動しづらかったりするんで、「25周年を引きずる」っていうことを覚えて。今年も、来年くらいも、25周年でいきたいよね。ずーっとね。

**吉村**：そうね。世間でコロナ禍だって言われている間は、「25周年」って言ってもバレないんじゃないかなって。

**大貫**：ずーっと言っておいて、周年になるとレーベルの人も事務所の人もちょっと優しくなるので、ちょうどね、いい感じで…(笑)。

**——吉村さんは1月30日にお誕生日を迎えられますね。（※撮影は1月中旬）**

**吉村**：ああ～！本当だあ！ありがとうございます。

**大貫**：そうだ。えっ、（お祝い）どうしよう。

**吉村**：えっとね、電子レンジか…空気清浄機か…どうしよっかなあ。高級なパンを焼くトースター…

**大貫**：違う違う。炭をおこすやつでええでしょ。

**吉村**：キャンプは年に1回しか行かないから（いらない）。

**大貫**：あの…キャンプ場であったかいやつ。持ち運びに便利な、小さい、屋外で使えるストーブみたいな…

**吉村**：ああ～！あれ、めっちゃ良かったね。

大貫：あれ買ってあげるわ。

吉村：あれ自分で買える。

大貫：えっ？

吉村：大丈夫、あれ。今日注文したら明日届くから。

大貫：こっちが買ってあげるって言う物を受け取りなさいよ(笑)。

### ——吉村さんは、次の1年はどんな年にしていきたいですか？

吉村：髪を短くするか、長くするかで悩んでるんですよ。

大貫：…(笑)。おもしろな(笑)。

吉村：1年あったら結構伸ばせるなっていう。

大貫：もうちょっとなんかさあ、小見出しになるようなことを言ってもらって良いかな。

吉村：小見出し？週刊誌に載ってやる！みたいなこと？やめなさいよ。

大貫：それはほんと、やめてください(笑)。ないの？抱負とか。

吉村：えー、ツアーがしたい！仕事としてはツアーがしたいっていうのと…。47歳になるんですけど、46歳で初めてスノーボードというものをやったんですね。そしたら全然滑れなくて。47歳は、多少なりとも滑れるようになりたいなっていうのと、でも心のどっかでは「ケガするからやめたほうが良いよ」って言う自分と、今せめぎ合ってるんですね。でも46歳で初めてやったからもうちょっと続けようかなっていうのが、47歳かな。そんなんでいいかな？そっちの方がしようもなくなない？髪伸ばす話の方がまともじゃない？

大貫：いやいや。そっち(髪の話)の方がしようもない。いいじゃん、スノーボード。

吉村：でも、本当はやりたくないんです。(大貫さんが)すごい「やれ」って言うから渋々行ったんです！本当は全然、アウトドアみたいなそういうアクティブなこと大っ嫌いなんです！

大貫：そのときの映像がこちらです！ってやりたいくらい(笑)。すごい可愛いんです、由美ちゃんの滑ってる姿(笑)。

吉村：人って、「もうちょっと行けるかな」って思うじゃないですか。スキーも全然やったことがないんですけど、雪の上で何一つ自分の思い通りにいかないというか。帰ってきてから半年くらい、この辺(脇腹あたり)めっちゃ痛かったんですよ。絶対ヒビ入ってたと思う。半年くらい痛かった。

大貫：でも、一回目であれはすごいよね。ずっと立ててたじゃん。

吉村：こうやって、(一緒に)行って欲しいから言うんです。

### ——もうすぐバレンタインデーですが、印象に残っている出来事がありますか？

吉村：言っちゃいなよ～。あれバレンタイン…クリスマスかぁ！

大貫：クリスマスだよ。今思ったの、私も。「ある！」って思ったけど、あれはバレンタインじゃないから。

吉村・大貫：バレンタインかぁ～。

吉村：今更バレないからさ、クリスマスを「バレンタインだ」って嘘ついてさあ、あの話すればいいんじゃない？

大貫：じゃあ、バレンタインっていういにしちゃっていいかな。でも、嘘つくことになるじゃん。

吉村：じゃあダメかぁ～。

吉村：絶対(バレンタインのエピソード)あるって。考えよう。

大貫：作るより買ったほうがおいしくない？チョコって(笑)。

吉村：あ！ある、ある。(チョコを)作ったことあったんですけど…



**大貫**：誰にあげたの？

**吉村**：えっなんで言わなきゃいけないの(笑)？名前？

**吉村**：20代 のときに作ったことがあって、届けて、その何日か後にお家に遊びに行ったらまだ冷蔵庫にそれ入っててすごいショックだったから、「もう一生作んない！」と思ってる。嘘でも良いから捨ててよ！って思わない？「食べたよ」っていうていにしといてくれないと。

**大貫**：でも手作りチョコって食べづらい感じ、分からない？ちょっと。

**吉村**：それは、全然知らない人が作ったらちょっと苦手な人もいるけど……。そういうことだったのか。「キモッ」って思われてたのか。

**大貫**：全然知らない人くらいのレベルだったの？ちゃんと付き合ってた？

**吉村**：そう言われると、ちょっともう自信がない(笑)。

**吉村**：亜美ちゃんのクリスマスの話、使わないでいいから聞いてもらっていいですか(笑)？

**大貫**：初めて好きな男の子とクリスマスにディズニーランドに行って、張り切ってシュークリームを作って行ったんです。箱に入れて持って行くじゃないですか。園内で食べてくれようとして、はいて渡して、ありがとう～ってぱかって開けて、こうやってやったら（中身を見せようと傾けたら）全部ざーって出て(笑)。パラシュート部隊みたいに(笑)。…ってなって、全部……って思い出ですな。

**吉村**：全員が思ったよね、ざまあみろってね。

**——ソネットのCMであることにちなんで、初めてインターネットを使ったときのエピソードを教えてください。**

**吉村**：絶対（大貫さんの方が）早かったじゃん。

**大貫**：え、ピッチ（PHS）の話？

**吉村**：その後さ、ザウルス持ってたよね。あれネットじゃない？

**大貫**：確かにそうかも。

**吉村**：私たち”モモちゃん”行き来してたよね。

**大貫**：してた。PostPet やってたよね。メールって、PostPet がやりたくて始めた気がするな。メールってということより、動物たちが行き来してくれるのを見たくて、送ってた気がします。

**——最上さんがリアルモモを演じていますが、キャラクターのモモのイメージと比べてどうですか？**

**大貫**：「あ、実在するんだ」みたいな。モモいるじゃん、って思いました。

**吉村**：可愛い。

**——最近、インターネットを使ってどんなコンテンツを楽しんでいますか？**

**吉村**：買い物か動画だよな。

**大貫**：そうだねえ。動画じゃない？やっぱり。動画配信サービスの動画だったり、韓国ドラマを見ていたり、ゲーム配信とか…動画クリエイターさんの動画を見たりしています。

**吉村**：お洋服はあんまり（通販では）ないんですけど、ペットの物とかを買うときは、重いんで、そういうのを使って買いますね。

**大貫**：重い物、かさばる物とかね。

## 最上もがさんインタビュー

### ——今回の MV はどんな世界観になっていますか？

**最上：**今回は PUFFY さんが 25 周年っていうのもあって、「思い出を映していく」というか。今回の歌の歌詞で「つながってる」という言葉がキーワードになっているので、ソネットさんも長くやって、PUFFY さんもずっと長くやってっていうのを組み合わせている感じなので、「思い出を形にしている」という感じだと思います。

### ——PUFFY さんとのご共演はいかがでしたか？

**最上：**すごい嬉しかったです。前に一緒にライブをやらせていただいたりもあつたんですけど、結構会ってなかったので、久しぶりに会えて嬉しいです。

### ——楽曲を初めて聴いたとき、感想はいかがでしたか？

**最上：**すごく楽しい曲になって思いました。それこそ、PUFFY さんっぽさがあってとても良かったのと、プラスでソネットとちゃんと親和性があるというか、そういう曲を作っていることにびっくりというか、「すごい合ってる！」と思いました。

### ——動画の見所を教えてください。

**最上：**一番最初に撮ったシーンが、3 人で一緒に振りをしながら歌っているところなんですけど、元々はこのシーンがなかったんですよ。ミュージックビデオの説明のミーティングをしてたんですけど、そこで絵コンテを見たときに、共演が PUFFY さんということは知ってたんですけど、同じ（一緒に撮影をする）シーンがなかったんですよ。でも歌の印象としては、みんなで歌ってワー！みたいな雰囲気だと私は思っていたので、それなら「一緒に歌って踊りたい」みたいな話をしてたんですよ。それが実現するかは分からなかったんですけど、実際に（撮影を）やりますよってなったときの絵コンテを見たら一緒になって、これは言ってみて良かったなと。それまでは後ろで自分が、モニターに映って、PUFFY さんは 2 人で歌って踊って、って感じだったんですけど、私も一緒に出て 3 人で振りを踊っているシーンがあるので、是非、発案したシーンを見ていただきたいなと思います。

### ——動画では制服を着用していただきましたが、いかがでしたか？

**最上：**めちゃくちゃ久しぶりにルーズソックスを履いたので、「いいのかな？」という気持ちになりました(笑)。この仕事をしていると、昔に戻るみたいな機会が実はここ何年か多くて。制服も、学生でも何でもないので、卒業してから結構着てるんですよね、仕事で。33 歳にもうすぐなるんですけど、「いいのかな」という気持ちがすごくあります(笑)。緊張します。(学生時代に、ルーズソックスを)履いてたんですよ。ギリギリその世代で。ただ、途中からハイソックスに変わったというか、流行りが変わっていったので、周りは「どっち派」というのは結構分かれていました。ルーズソックスがあまり好きじゃない先生もいたりしたので、注意しているところとかも見かけていて、厳しかったですね、少し。ルーズソックスを履くときって、のりを付けて落ちないようにするんですけど、その位置をなんとなく思い出して、「ああここだったな」みたいなことがありました。

### ——2 月 25 日にお誕生日を迎えられますが、次の 1 年はどんな年にしていきたいですか？

**最上：**去年、お仕事で占ってもらった機会があつたんですけど、そのときに「22 歳から 32 歳まではめちゃくちゃ大変な年だ」と言われたんですね。「落ちる時期がすごくあると思う」と言われて、「33 歳から 43 歳まではめちゃくちゃ運気が良い」と言われたんですよ。私、占いにすごい興味があるとか、信じるから自分から占いに行くとかはあまりなか

ったんですけど、そう言われると嬉しいじゃないですか。他のこともズバズバ当てられていたので。仕事がずっとつらかったとかではないんですけど、やっぱり大変な時期はものすごくあって、葛藤していた 10 年だったので、「これからの 10 年は明るいんだ！」っていう風に、今から盛り上がっているんですよ(笑)。だから楽しく過ごしたいなと思います、この先 10 年は。

### ——これを機に占いを信じるタイプになったりしましたか？

**最上：** 良い事だけは信じていきたいと思って。基本、「病は気から」みたいなものだなと思っているので、ネガティブな時ってどんどん思考がネガティブになって、結果失敗しちゃったりっていう経験が過去に何度もあったので。前向きに考えるってことが、何かが上手くいくことに繋がりがやすいっていうのはなんとなく実感していて。去年出産したんですけど、子どもに助けられていることがすごくあって、前向きな時間がとても増えたんですよ。そうすると、仕事に対して今までつらかったこととかも、実はそんなにつらくないと感じたりとか。今まではこれを仕事としてやっていたけど、今はある意味「出稼ぎに来ている」というか(笑)。仕事はもちろん大変ですし、今も絶賛時間が押してて、「いつ帰れるんだろうな」と思ってるんですけど、一人で何かをする時間が育児をしていると取れないので、今までは「押すのがつらい」って思っていたけど、今はまあ良いかな、くらいになってます。

### ——ママになられてから約 8 カ月間、子育てをされる中で一番大変なことで、嬉しいことを教えてください。

**最上：** (大変なことは)「睡眠時間」(笑)。赤ちゃんってやっぱり泣くものだっていうのは分かっているんですけど、夜泣きが結構頻繁な時期があったりして。仕事で睡眠不足でつらいうって思っていた時より、今の方がメンタル的には元気なんですけど、それは多分娘がいるから元気になるんですけど、「睡眠時間欲しいな」はすごくあります。ただ、嬉しいことは日々結構ありまして、例えば寝返りが初めてできたとか、初めて声を出して笑ったとか。最近は何かを伝えようとしてくれるんですよ。新生児の頃から 3 ヶ月くらいまでは、赤ちゃんって言葉が喋れないし、喃語とかもあまり喋らないので。泣くしかなくて、伝える手段が。何を伝えられているのかがわからなかったんですけど、今は割と明確に「これ嫌なんだな」とかがわかるんですよ。「泣く」というよりは、訴えてきているので、「なるほどな」という。ちょっとずつ学んで成長しているというのが、日々分かることが嬉しいです。

### ——もうすぐバレンタインデーですが、今年はどうに過ごされる予定ですか？

**最上：** なんもないですね(笑)！ただ、娘が生まれてから季節の行事をすごく大事にしているので、「バレンタインよりはひなまつり」というか。おひなさまを最近注文したので、多分それで終わってしまうかと思います(笑)。バレンタインは全然関係ないかもしれないです(笑)。

### ——今までのバレンタインデーで印象に残っている出来事がありますか？

**最上：** 初めてバレンタインチョコをあげたのが小学生の頃なんですけど、4 年生か 3 年生くらいのときにあげた、チョコの包装を覚えています。エメラルドグリーンみたいな袋に入れて渡したんですけど、今思えば「なんであの色だったんだろう」と思います(笑)。本命の男の子がいて、その子に渡して、でもその子は次の年に転校しましたね(笑)。(チョコを) 渡した記憶はあるんですけど、何を言ったのかあまり覚えていないのと、小学生ってまだ「付き合う」とかも分からなくて、ただ「はい！」みたいな。すごい緊張して渡しに行った記憶があります。

### ——バレンタインデーは好きですか？嫌いですか？

**最上：**小学生頃のやっとな“ませた”時代は、自分で渡すこともあったんですけど、それまでバレンタインデーって、お母さんがチョコをくれる日っていう感じだったんですよ。鉛筆の形をしたチョコとか、子どもが喜ぶようなチョコをお母さんがみんなに配ってくれるんですよ。それが嬉しいなっていうのと、あとは、ちょっと年齢も上がってくると、お父さんとかお兄ちゃんにあげる。お父さんにあげると、返ってくるチョコがおいしいっていう(笑)。だからチョコをもらうイベントとして捉えているので、私はすごい楽しんでいました。好きか嫌いかで言うと、「普通」ですね(笑)！

#### ——最上さんが“インターネットに求めること”を教えてください。

**最上：**「速さ」！回線の強さというか、今は本当に Wi-Fi がないと困るじゃないですか(笑)。家でもずっと Wi-Fi を使っていますし、一番良いのはラグがないことですね。ネットゲームとかもしてたので、「落ちないでくれ」っていう(笑)。友達とネットを通じて喋ったりするときとかも、回線が弱い子はぶちぶち切れたりするので、「ちょっと～！」って(笑)。たまにポケット Wi-Fi でちょっと弱い、みたいな人がいたりすると、途中で途切れちゃったりするので、回線によって勝ち負けは決まります(笑)。

#### ——初めてインターネットを使ったときのエピソードを教えてください。

**最上：**それこそ、PostPet が一番最初かもしれなくて。実家がずっと今もソネットを使ってるんですけど、当初のドメインを取得しているのめっちゃレアなアドレスらしいんですけど、それをそのままずっと使っていて。当時はパソコンを持っている子どもも少なく、学校の友達とやり取りをすることがなかなかなかったんですけど、PostPet を使ったときに、全然知らない人と交流する楽しさというか、メールが送られてくるみたいなのが、インターネットを始めた当初の思い出としてすごく強いです。

#### ——ソネットの回線の使い心地はいかがですか？

**最上：**正直に言いますと、当初はやっぱり試行錯誤でしたよね。どんどん進化してるので、今はめっちゃ強いなって思います。

#### ——最近は、インターネットを使ってどんなコンテンツを楽しんでいますか？

**最上：**今は主に、海外ドラマを結構見てるかもです。育児をしながらゲームをするっていう時間がなかなか取れないので、ご飯タイムだけ（ドラマを）見るっていう時間を設けてるんですけど、少しずつ海外ドラマを見進めていくのが好きです。自分のフリータイムっていうのが娘が寝てからなんですけど、そうすると、自分の睡眠時間をどのくらい減らすかっていう削る勝負になっちゃうので、長くても 2 時間とかかもしれないです。一番、寝たい(笑)。